



日本安全性薬理研究会

Japanese Safety Pharmacology Society

日本安全性薬理研究会会員の皆様

日本安全性薬理研究会 第7回情報・技術交流会 「大動物を用いたテレメトリー試験の精度向上に関する活動」のご案内

日本安全性薬理研究会は、「医薬品の安全性評価を薬理学から支える」ことをビジョンに掲げ、これまでに5回の学術年会、6回の情報・技術交流会を開催して参りました。この度、情報・技術交流会の活動の一環として、大動物を用いたテレメトリー試験の精度向上について考え検討する場を提供する活動を立ち上げることといたしましたのでお知らせいたします。本活動は、安全性薬理研究における大動物テレメトリー試験の精度向上のためのテーマを設け、少数によるサブチームを編成して実際のデータ*をもとに試験デザインからデータ解析に関する検討**を行い、解析結果と成果について関連する安全性薬理研究者へ報告・提案することを目的としております。背景には、第5回学術年会の統計シンポジウムにおいて、大動物テレメトリー試験の試験デザインだけではなく、データ解析方法などにおいても様々であることが明らかとなったこと、また、近年のテクノロジーの進歩によって膨大なデータを取り扱うことが可能となってきたが、そのデータを有効に利用できていないことなどが挙げられます。今回の活動が、安全性薬理研究を遂行する上での精度向上に寄与すると共に、問題点の解決や安全性薬理分野の発展、New paradigm (ICH-E14 廃止、ICH-S7B 改訂) への寄与・貢献、さらには会員の皆様のより深い交流に繋がるものと期待しております。

*：実際のデータは、原則参加者より提供いただきます（必要に応じて、サブチーム内でデータ取得をすることも考えます）。

**：手術方法や実験操作は含みません。

活動予定について

- 1) 第6回 JSPS 学術年会（2015年2月）まで：
 - ・具体的な活動内容の検討（メールや電話会議を基本とするが、必要に応じてアンケートなど実施）。
 - ・活動内容毎にサブチームの編成（活動内容設定：2014年9月、チーム編成：2014年10月）。
- 2) 第6回 JSPS 学術年会開催中：意見交換、活動状況の報告など。
- 3) 第6回 JSPS 学術年会以降：本格的な活動開始。
- 4) 第7回 JSPS 学術年会（2016年2月）：活動成果をまとめて報告。2016年3月活動終了。

参加について

- 1) 参加者募集：2014年6月12日（木）～ 7月11日（金）
- 2) 参加対象者：日本安全性薬理研究会会員で、大動物テレメトリー試験の評価研究に関与している方（各社1名まで）。
- 3) 参加費用：不要（ただし、活動にあたり発生する費用は各自負担）
- 4) 申込方法：研究会 HP 申込フォーム（以下 URL）より必要事項を入力いただきお申込みください。

<https://www.primetech.co.jp/tabid/177/language/ja-JP/Default.aspx>

担当幹事：金納 明宏、尾崎 晴茂、千葉 克芳（問合せ先：kouryukai@j-sps.org）